

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

沖縄県

行事名称	第40回 伊是名村文化財防災訓練
実施期間・日時	令和2年1月24日(金) 午前11時
実施場所	国指定重要文化財「玉御殿」
主催者	伊是名村教育委員会

■実施内容

訓練の想定

銘苅家住宅主屋より出火し、延焼している状況を想定。第一発見者役（文化財担当）が119番通報し、出動要請を受けた村消防団が消火作業を展開する。また、けが人等は無しと想定。

訓練の内容

119番通報を受けた本部団員及び分団員の消防団員が消防車2台にて現場へ急行する。火災発生源付近までホースを延長し、消防車および銘苅家住宅敷地内に設置している放水銃3基から一斉放水、消火活動にあたる。

参加者及び役割分担

伊是名村消防団（12人）：初期消火、全体統括、放水訓練

教育委員会（5人）：現場立会、確認、沖縄県消防指令センターとの調整

参加者

村文化財保護審議会委員 2名

伊是名村長・役場各課長・村議会議員各位・その他関係機関局長 約35人 計 54人

特に工夫した点

- ・発煙筒を使用したことにより、火災発生源が煙に包まれより実践的に取り組めた。
- ・防災放送を活用し訓練について広く村民に対し周知を行った。

問題点・課題

村内放送を活用し村民に対して訓練の実施を周知しているが、地域住民の参加は少なく、実際に火災やその他災害時の対処法が浸透していない現状にある。そのため、今後は積極的に地域住民に対し参加を呼びかけ、防災対策についての周知ならびに協力体制の構築を図る必要がある。

その他

文化財防火訓練を継続していくことで、文化財への愛護を育むと共に、次世代への継承とするための意識高揚を図る。

訓練風景



放水訓練



放水銃の使用状況